

閉会の挨拶 山形市福祉推進部生活福祉課次長 金澤孝治氏

皆さん、長時間にわたり本日のシンポジウムのご参加、大変ご苦勞様でした。併せて本
日ご指導いただきました阿部先生、澤邊先生、4名のシンポジストの皆さん、大変ありが
とうございました。今回のテーマは「生活困窮者」です。ちょうど国でも自立支援法がい
ま国会で議論されていて、時宜を得た題材だったと感じます。

先ほど来のお話の中にもありましたように、生活困窮者の方々はそれぞれが違う問題で
悩んでいます。医療費の問題、学習の問題、就労の問題、人それぞれ、100人いれば100
人が違う問題で悩んでいます。

山形市でもモデル事業に今年と来年、取り組みますが、山形市、行政の内部では解決で
きない。内部的には「みんなで連携してやろう」という意思の統一は図りましたが、それ
だけではだめです。外部の関係機関、医療機関や、先ほど出ていますが総括支援センター
や障害者の相談支援事業所、サポートセンターだったり、ハローワークだったり、いろい
ろなところの相談を受けている機関があります。その方々との連携を密にしながら、いろ
いろな知恵を集めてその人、人それぞれに合った支援策をつくっていくことが一番求めら
れているのではないかという気がします。

今日は長時間にわたり皆様と一緒にいろいろな問題を考えてきましたが、今後とも連携
を深めながら進んでいくことが生活困窮者のよりよい支援につながると思います。お互い、
ともにこれからも頑張っていきましょう。よろしくお願いいたします。